

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

取組 (1) カリキュラム・マネジメントの充実・強化

- 4校の教育目標を照らし合わせ、「9年間を通した目指す子ども像」を設定し、グランドデザインを示した。4校の校長で学校経営方針に位置付ける方向性を確認した。
- 「キャリア教育」を軸とした教育活動の構想と小小連携の「キャリア・カフェ」の実施や中学校「職場体験」と連携した。
- 各学校の行事や総合的な学習の時間、「宿泊研修・修学旅行」の行程や活動内容、「運動会」「学習発表会・文化祭」の取組等について交流・連携した。

成果

目指す子ども像が明確になったことで、活動の方向性が定まった。コロナ禍ではあるが、各校での工夫した地域の人的・物的教育素材を活用した取組を交流し合うことでカリキュラム・マネジメントの充実・強化を図ることができた。



【キャリア・カフェの様子】

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

取組 (4) 教員の資質・能力の向上

- 4校合同での地域連携研修会を実施した。テーマは「ICT活用」で各教科、特別支援計10部会に分かれて日常の実践の交流をした。
- 校長部会は毎月各学校を視察して、地域間連携を推進した。ICT活用の授業やICT環境を交流し、得た情報や資料をそれぞれの学校に持ち帰って還元した。
- 初任段階教員を中心として、各学校の研修会に計画的に参加させるとともに、長期休業を使って若い先生方の交流会を設定した。
- 小学校巡回理科専科教員と中学校の先生との連携や、中学校の英語担当教員の乗り入れ授業等を行った。

成果

地域連携での研修会では学年に応じたICTの活用方法が紹介され、新たな使い方を学び合うことができた。また、地域4校で初任者段階教員の指導を実施することで、互いに学び合う関係が確立した。さらに、小学校の授業参観した中学校数学担当の教員が中学校見学の際に第6学年を指導するなど新たな取組が見られるようになった。



【地域連携研修の様子】

質の高い教育活動を持続的に行う働き方改革の実施

取組

(3) 業務の効率化に向けた取組の充実

- 「ICTを活用した効率的な会議」として、Googleドライブを活用して朝打合せを廃止した。また、コロナの状況を考慮して職員会議をGoogleMeetを活用して遠隔で実施した。一日の予定については、スプレッドシートを活用して職員室モニターで共有し、アンケートや調査はGoogleフォームを活用した。
- 保護者からの欠席連絡については、Googleフォームを活用する学校とリーバを活用する学校がある。保護者連絡については、一斉メールを活用し、電話連絡以外で連絡ができるようにした。
- 「ICTを活用した教材準備の効率化」として、デジタル教科書の積極的な活用と、NHK for SchoolやYou Tube等の教材を準備するとともに、各学年で使用した教材はフォルダに保存して共有化を図った。

成果

会議の回数が減り、時間も短縮されて仕事の効率化が進んでいる。また、保護者との連絡もICTを活用することにより効率化が図られた。さらに日常的に端末を活用した授業を展開することにより、子ども達が主体的に情報を集めるようになり、教材づくりの時間が減少した。



【ICTの活用についての校内研修の様子】